

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	プロダクト理論 1
科目基礎情報				
開設学科	プロダクトデザイン科	コース名		開設期 前期
対象年次	1年次	科目区分	必修	時間数 30時間
単位数	2単位	授業形態	講義	
教科書/教材	プロダクトデザインの基礎 素材とデザインの教科書			
担当教員情報				
担当教員	大山敏弘	実務経験の有無・職種	有・プロダクトデザイナー	
学習目的				
人間の肉体的・精神的特性について学ぶ人間工学や社会におけるプロダクトデザインについて学ぶ。人間工学においては人体への知識と構造への理解を深めた上で、現状のプロダクトのサイズや形状との関連性について考察する。またプロダクトデザインの黎明期～近代～現代の大きな歴史の流れを理解し、知識の重要性について認識する。社会におけるプロダクトデザインの役割については社会環境との関係性やユニバーサルデザインを交えて理解していく。				
到達目標				
プロダクトデザインの近代～今日までの歴史と文化的文脈を学ぶ。人間工学と道具の関係性を実習を通じて理解し、現代社会との関係性やこれからあるべきデザインの関わりの理解を目標とする。				
教育方法等				
授業概要	毎回教科書を持参し、内容を参考にしながら講義を展開していく。人間工学分野では各種計測中心の実習を交え、体感したデータを基に深い理解につなげていく。適宜現場で活躍しているデザイナーのDVD等参照し将来のデザイナー像のイメージにつなげていく。			
注意点	講義に遅刻、欠席をしないこと。 講義に必要な教科書、資料を持参すること。 講義中は必ずメモを取ること。 やむを得ず欠席した場合、すぐに担当教員が補助員に相談し授業の流れに遅れないよう注意すること。			
評価方法	種別	割合	備 考	
	試験・課題	50%	試験と課題を総合的に評価する	
	小テスト	40%	授業内容の理解度を確認するために実施する	
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する	
授業計画（1回～15回）				
回	授業内容	各回の到達目標		
1回	ガイダンス	工業デザインの概念・ルールについて理解し、ポイントをノートできるようになる		
2回	プロダクトデザイン・プロダクトデザイナーとは	様々なプロダクトデザインが使用者と使用環境との関係性から成り立っているという事を理解し活用できるプロダクトデザイナーの立場を知ることによって未来の自分のあり方をイメージできるようになる		
3回	プロダクトデザインの領域	生活分野・産業分野、消費財・生産財と身の回りのプロダクトを大別してわかるようになる		
4回	プロダクトデザインの歴史1,2	産業革命～ミッドセンチュリーまでの歴史を理解し、知見を広げる事が出来る		
5回	プロダクトデザインの歴史3,4	戦後～現代までの歴史を理解し、知見を広げる事が出来る		
6回	カタチと意味の関係性	デザインはカタチではなく使い勝手や意味が最終的に帰結するという事を理解できるようになる		
7回	DVD視聴1	プロフェッショナル・仕事の流儀をみて現場のプロの仕事の仕方を覚える		
8回	人間工学1 身体の寸法	人体寸法がモノづくりの基礎となっていることを知り活用できるようになる		
9回	人間工学2 てのひらの寸法	多くのプロダクトが握るという行為を基にしていることを理解し活用できるようになる		
10回	人間工学3椅子の寸法	椅子と人体の寸法関係を理解し、椅子デザインに数値応用できるようになる		
11回	DVD視聴2	プロフェッショナル・仕事の流儀をみて現場のプロの仕事の仕方を覚える		
12回	社会とプロダクトデザインの概要	プロダクトデザインが社会との結びつきが強い事を知り社会的観点からデザインを捉えられるようになる		
13回	ユニバーサルデザイン キッズデザイン	8～9回の実習を振り返り人間工学とユニバーサルデザインの関係性を理解する 多くの人にやさしいデザインを考えられるようになる		
14回	エコデザイン・安全とデザイン	環境および人間主体の安全を意識してデザインを考えられるようになる		
15回	まとめ	授業のまとめ		